地上デジタル防水テレビ　20 型

XL-202-F

取扱説明書

● この度は当社製品をご購入いただきまして誠にありがとうございました。本取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために重要な注意事項と安全なお取扱方法を示しております。本取扱説明書を事前によくお読みの上、ご使用ください。

● 本取扱説明書をお読みの後も、必ず製品保証書と一緒に大切に保管してください。

Ver.2.02

目　次

●安全にお使いいただくために

この度は地上デジタル防水テレビをご購入いただきまして、誠にありがとうございました。
製品をご使用の前に本取扱説明書をお読みになり内容をよくご理解の上、必ず注意事項をお守りください。
尚、本取扱説明書では誤った取り扱い方法により生じるお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、次の表示で区分を説明しております。

□ 本取扱説明書で使用している表示と意味

	警告	この表示の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある場合に表示します。
	注意	この表示の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性がある場合に表示します。

	危険、警告、注意を示しています。
	禁止行為を示しています。記号の中に具体的な内容が描かれています。
	必ず行わなければいけない行為を示しています。記号の中に具体的な内容が描かれています。

 警告　以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

□ 製品の取り扱いについて

本製品を使用する場合、取り扱い及び取り外しをする場合は、必ず本取扱説明書の注意事項をご確認ください。また、記載されている警告、注意事項は必ずお守りください。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。破損の状態のままご使用を続けますと、火災や感電・故障の原因となります。すぐに電源ボタンをオフにしてご使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

本製品の内部に液体、異物を入れないでください。その状態のままご使用を続けますと、火災や感電、故障の原因となります。すぐに電源ボタンをオフにしてご用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

本製品の改造・分解を行わないでください。事故や火災、感電の原因となります。

本製品は当社以外での修理を行わないでください。

本製品を火中に投入しないでください。破損による火災・けがの原因となります。

水の中でのご使用は感電や故障の原因となります。

誤って水中に落とした場合、感電の原因となりますので、すぐに拾い上げてください。

本製品を電子レンジなどの強い磁界が発生するものに入れないでください。
事故や火災、感電の原因となります。

警告　以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

□ 製品の設置について

水中に落ちる恐れのある場所に置かないでください。
水中に落ちた場合、火災や感電、故障の原因となります。

□ 製品の異常について

万一本製品より煙が出る、異臭が発生する、発熱している、異物が入ったなどの異常が見られる場合には、すぐに電源ボタンをオフにしてご使用を中止してください。
異常状態のままご使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。
ご購入いただいた販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

□ 外部機器との接続について

外部機器への接続(ケーブルの接続)は濡れた手で行わないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

□ 電源ボックスについて

必ず本製品付属の指定品をお使いください。

電源ボックスはAC100Vです。指定電源電圧でお使いください。
指定電源電圧以外で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

日本国外での使用は行わないでください。
海外などで異なる電圧を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

電源ボックスの取り外しをするときは、本体の電源をオフにしてから行ってください。
故障の原因となります。

電源ボックスのコードの加工や、重いものを乗せる、ストーブなどの熱器具へ近づける、加熱するなどの行為は行わないでください。コードが切断・損傷し火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源ボックスを触らないでください。感電や故障の原因となります。

電源ボックス上、または付近に液体の入ったものを置かないでください。

注意　以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性がある場合に表示します。

□製品の取り扱いについて

本製品を移動させる場合、電源ボックスや接続機器のコードを全て外してください。
火災や感電、故障の原因となります。

本製品を移動させる場合、しっかりと両手で持ってください。
本製品が落下して、けがや故障の原因となります。

シンナー、ベンジン等の有機溶剤や化学製品で本製品を拭かないでください。
塗装がはがれて付着したり、樹脂部が溶ける原因となります。

定期的にクリーニングを行ってください。
製品内部にホコリがたまった場合、火災や故障の原因となります。

通風口を塞がないようにしてください。
通風口を塞いだ場合、製品内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

通電中の本製品に長時間触れないで下さい。低温やけどやけがの原因となります。

表示中の画面を長時間継続して見ないで下さい。目が疲れたり、視力が低下する恐れがあります。
長時間見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用を中止し休息をとってください。
万一休息しても不快感や痛みが取れない場合には医師にご相談ください。

水や洗剤がかかったら、早めに拭き取って下さい。そのまま放置すると、スピーカー部に水がたまり
音が小さくなったり、画面に水垢が付いてしまいます。

シャンプーなどがかかったら、軽く水拭きした後、乾いた柔らかい布で拭いて下さい。
かかったまま放置しますと変色、故障の原因となります。

□製品の設置について

本製品が落下したり、転倒したりする恐れのある不安定な場所、振動の発生する場所に置かないでください。
けがや故障の原因となります。

「設置説明書」をご覧になり、本製品が正しく取り付けられていることをご確認ください。
誤った取り付け状態でご使用の場合、本製品が落下して、けがや故障の原因となります。

強い磁界や静電気が発生する場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。

漏電の発生する危険箇所場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。

ホコリや油煙の多い場所や直射日光の当たる場所に置かないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

□液晶画面について

液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えないで下さい。液晶画面が破損して、けがや故障の原因と
なります。

液晶パネルが破損した場合、内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となります。
万が一口に含んでしまった場合、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
目に入ったり、皮膚に付着した場合、清浄な流水で１５分以上すすいだあと医師にご相談ください。

デジタル放送には、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送があります。地上デジタル放送とは、UHF 帯を使用したデジタル放送のことです。デジタル放送は、従来のアナログ放送に比べて画像が多重に画面に映ることなどの障害が起こりにくく、より新鮮な映像、高音質な音声で番組を楽しめます。

本製品は、地上デジタル放送のみ対応しております。
(BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送をご覧になることは出来ません)
アナログ放送は受信できません。
本製品は周波数変換パススルー、字幕放送、EPG に対応しております。
データ放送や双方向サービスに対応しておりません。

地上デジタル放送を見るために必要な条件

●地上デジタル放送を受信するには、下記の条件が全て整っていることが必要です。

1 地上デジタル放送受信エリアについて

◎お住まいの地域が地上デジタル放送の受信エリアとなっているか確認してください。
受信エリアについては、社団法人 デジタル放送推進協会のホームページでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

2 アンテナについて

◎地上デジタル放送の受信には、地上デジタル放送対応の UHF アンテナが必要です。
VHF アンテナでは受信できません。
◎お住まいの地域で、地上デジタル放送と地上アナログ放送の送信塔がそれぞれ同じ方向の場合はアンテナの向きを変えずに地上デジタル放送を受信できます。送信塔が違う方向の場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。

3 受信強度について

◎地上デジタル放送の受信エリア内であっても、山やビルのかげなどによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

□ケーブルテレビまたは、共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。
地上デジタル放送を受信する上で必ず必要になります。

● 本製品に内蔵されているB-CASカードには１枚ごとに異なる番号(ＩＤ番号)が付与されています。
ＩＤ番号は大切な番号なので、ご確認のうえ、必ず控えておいてください。ＩＤ番号につきましては、
本体画面に貼ってあるシール（7ページ参照）または、メニュー画面（２２ページ参照）よりご確認ください。

B-CASカードに関するお問合せ先

B-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　0570-000-250　受付時間　１０：００～２０：００(年中無休)

※電話番号はお間違えのないようお願いいたします。
※携帯電話、ＰＨＳなどの移動体通信機器および各種ＬＣＲや交換機の設定によってはかからない場合があります。

取り扱いについての注意

● 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのＩＤ(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のB-CASカードの番号は控えておいてください。
● 内蔵されているB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
● B-CASカードのユーザー登録や、受信契約については、B-CASカード使用許諾契約約款をよくお読みください。
● 約款違反となりますので、本製品を分解してＢ－ＣＡＳカードを取り外さないでください。

地上デジタル放送について

はじめに

２００４年４月より放送番組著作権保護の為、地上デジタル放送を視聴するためには【B-CAS カード】が必要になりました。本製品はこの B-CAS カードがあらかじめ内蔵されています。
B-CAS カードの詳細については、６ページをご参照ください。
B-CAS カードの所有権は（株）ビーエス・コンディショナルシステムズに帰属します。
お客様は８ページ『B-CAS カード使用許諾契約約款』に基づいてこのカードを使用することができます。
この約款をお読みいただき、以下の動作を行うことで、簡単に地上デジタル放送を楽しむことができます。
操作方法を間違った場合は電源を入れなおして、再度操作を行ってください。

手順 1

取扱説明書８ページに記載されているＢ-ＣＡＳカード使用許諾契約約款をお読みください。

手順 2

「Ｂ-ＣＡＳカード使用許諾契約約款」同意画面

取扱説明書に記載されているＢ-ＣＡＳカード
使用許諾契約約款をお読みください。
次のページの操作を行うとＢ-ＣＡＳカード
使用許諾契約約款に同意とみなされ、
地上デジタル放送が視聴できます

「▼」を押して次の画面に進んでください。

本体の電源を入れると、左記の画面が表示されます。
リモコンの [▼] を押して次の画面にお進みください。

「Ｂ-ＣＡＳカード使用許諾契約約款」同意画面
操作は、メニューボタン押下後、
20 秒以内で行ってください。
メニューボタンを押す

「メニュー」ボタンを押す
「◀」　ボタンを押す
「▶」　ボタンを押す
「メニュー」ボタンを押す

※操作方法を間違った場合は電源を入れ直して
　再度操作を行ってください。

左の画面が表示されるので、
リモコンの【ＭＥＮＵ】ボタン押下後、２０秒以内に以下の操作を行ってください。

1.「ＭＥＮＵ」ボタンを押す
2.「◀」ボタンを押す
3.「▶」ボタンを押す
4.「ＭＥＮＵ」ボタンを押す

以上の操作を行うとＢ-ＣＡＳカード使用許諾契約約款に同意とみなされ、地上デジタル放送が視聴できます。

B-CASカード使用許諾契約約款 (KB0007A)

特別内蔵用カード

お客様がお買い求めのデジタル放送受信機器（以下「受信機器」という）には、地上デジタルテレビジョン放送を受信するためのICカード(ビーキャス(B-CAS)カード)(以下「カード」という)が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(以下「当社」という)が、この約款の契約(以下「本契約」という)に基づいてお客様に貸与するものです。お客様は、受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。当社は、B-CAS方式の限定受信システム(CAS)やカードを統一的に運用・管理するためにBSデジタル放送の放送事業者等により設立された会社です。詳しくは当社のホームページ(http://www.b-cas.co.jp)をご覧ください。当社へのご連絡やお問い合わせはカスタマーセンター(電話 0570-000-250)までお願いします。

第1条(カードの使用目的)

このカードには受信機器を制御する集積回路(IC)が内蔵されており、地上デジタルテレビジョン放送の番組の著作権保護等に利用されています。このカードは、地上デジタルテレビジョン放送の各種放送サービス(以下「放送サービス」という)を受信するために必要となります。

第2条(カードの所有権と使用許諾)

お買い求めの受信機器に内蔵されているカードの所有権は、当社に帰属します。

2.お客様は、本契約に基づき、受信機器に内蔵されているカードを使用することができます。

第3条(カードの故障交換等)

カードに起因すると推測される受信障害が発生した場合は、受信機器のメーカーあるいは販売店(以下「メーカー等」という)に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保障に準じて、メーカー等により行われます。(詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください)

2.当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、放送サービス等が受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第4条(カードの交換依頼)

カードの不具合やシステム変更(バージョンアップ)等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第5条(ユーザー登録)

前条のカード交換依頼の連絡等のためにユーザー登録を希望するお客様は、当社のホームページから必要事項を入力していただく方法、または当社に連絡してユーザー登録用紙を取り寄せていただく方法により、登録をしてください。ユーザー登録は任意です。

2.当社は、お客様からのユーザー登録情報を別に定めるガイドライン(当社ホームページより参照)に従って厳格に取扱います。

第6条(契約の終了)

当社は、受信機器の廃棄等によりカードが使用されなくなった場合、もしくは受信機器の譲渡等によるカード使用者が変更になった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第7条(禁止事項)

お客様は、このカードを、お買い求めの受信機器から取り外さないでください。

2.このカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。

3.カードの複製、分解、改造、変改若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

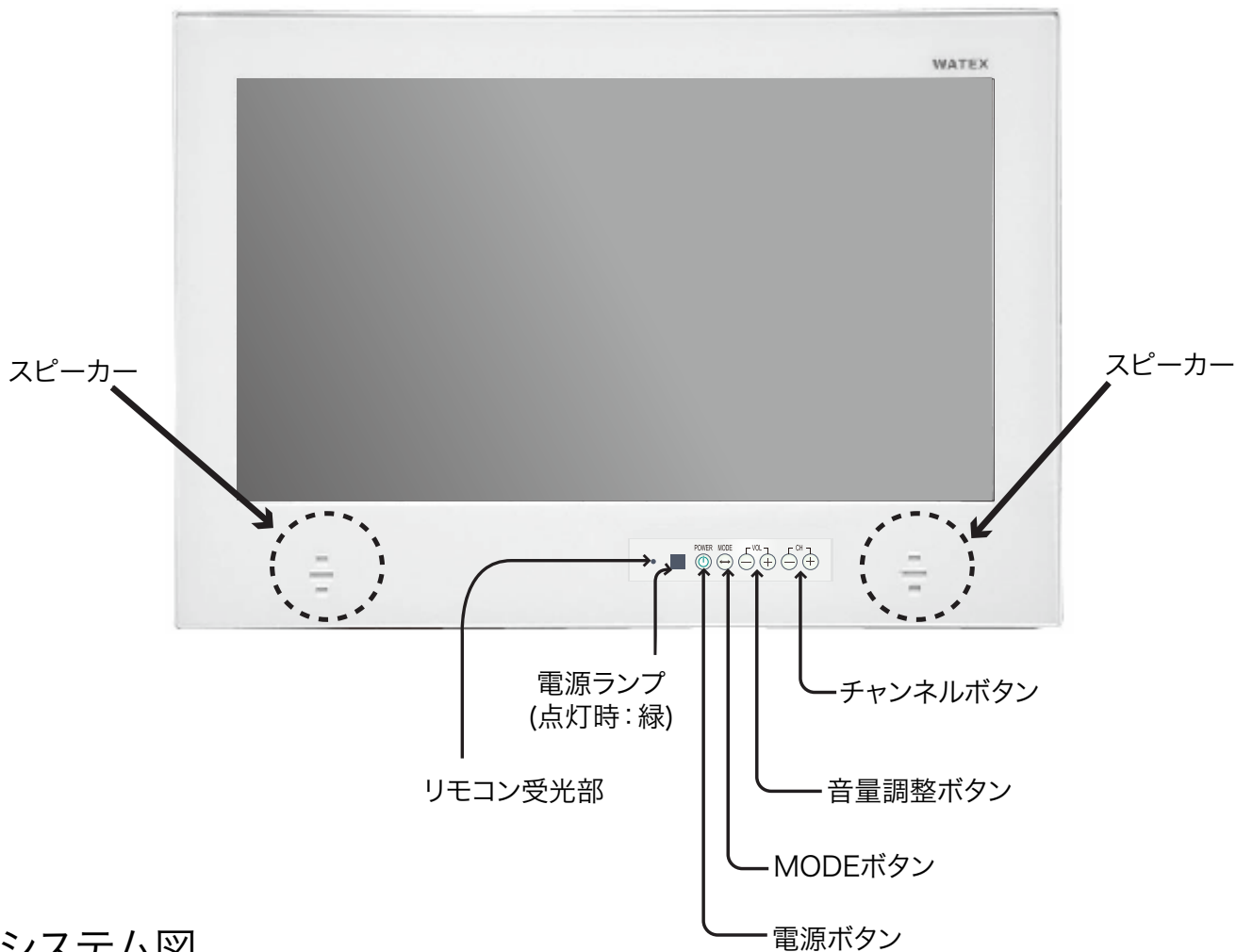
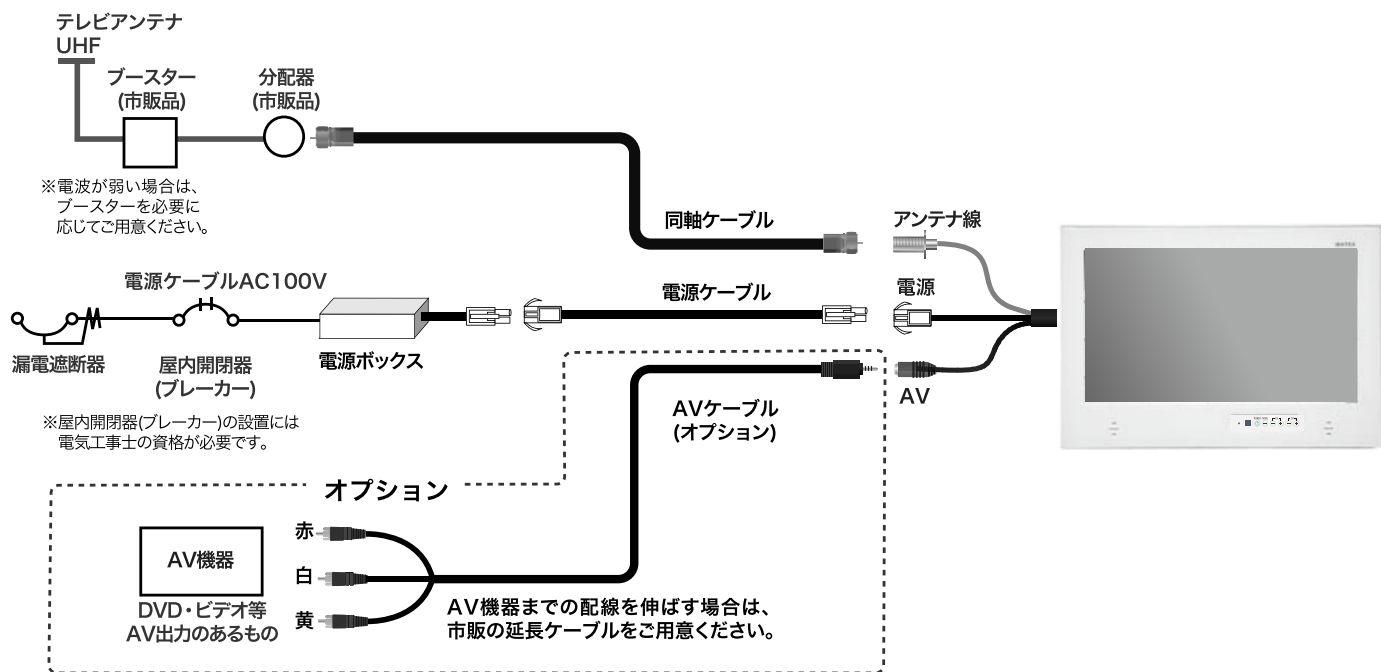
4.カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第8条(約款の変更)

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページに掲載します。

●付属品一覧

地上デジタル防水テレビ
保証書
専用同軸ケーブル
専用AVケーブル(オプション)※
※ オプション品です。また、専用AVケーブルとなります。
市販のAVケーブルはご使用できません。
電源ケーブル
リモコン
リチウム電池
(CR2025)
出荷時リモコンに
入っています。
リモコン用工具
リモコンホルダー
ビス
両面テープ
電源ボックス
設置板
●ビスカバー
●取付板用ビス
●ビスカバー用ビス
●防水スポンジ
取扱説明書
設置説明書

本体正面
WATEX
スピーカー
スピーカー
POWER
MODE
VOL
CH
電源ランプ
(点灯時：緑)
チャンネルボタン
リモコン受光部
音量調整ボタン
MODEボタン
電源ボタン
●システム図
テレビアンテナ
UHF
ブースター
(市販品)
分配器
(市販品)
※電波が弱い場合は、
ブースターを必要に
応じてご用意ください。
同軸ケーブル
アンテナ線
電源ケーブルAC100V
電源ケーブル
電源
漏電遮断器
屋内開閉器
(ブレーカー)
電源ボックス
AV
AVケーブル
(オプション)
※屋内開閉器(ブレーカー)の設置には
電気工事士の資格が必要です。
オプション
AV機器
DVD・ビデオ等
AV出力のあるもの
赤
白
黄
AV機器までの配線を伸ばす場合は、
市販の延長ケーブルをご用意ください。
WATEX

●ご使用上のご注意

■電源について

・指定以外の電源は使用しないでください。

■ 取り扱い上の注意

・お手入れにはベンジンなどの化学薬品は使用しないでください。本体が変形したり、塗装がはがれたりします。汚れのひどいときは柔らかい布を薄い中性洗剤に浸し、硬く絞って拭いてください。
・浴室用洗浄剤が本体にかからないようにしてください。かかった場合には速やかに荒い流してください。
・石鹸やシャンプーがついたときには洗い流してください、
・スピーカー部分に、泥や砂が入らないように注意してください。
・防水デジタルテレビには熱いお湯がかからないようにしてください。又、熱いお湯の中に落とした場合、変形したり故障することがあります。

■極端な温度や日差しの強い場所には放置しないでください

・窓を閉め切った自動車内、直接日光のあたるところ、暖房器具の近くなどには放置しないでください。本体の変形や、液晶パネルの故障の原因となります。
(保存温度範囲：－10℃～+70℃)
・0℃より低温、60℃より高温になると映りが悪くなることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。
(動作温度範囲：0℃～60℃)

●防水についてのご注意

本体は日常生活上の防水 (IPX6級 耐水相当)が施されており、雨や雪、水しぶきがかかるところでも使える防水仕様となっておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

(1) 水あるいは湯の中には入れないでください。
(2) 誤ってお風呂の中に落とした場合は、すぐに拾い上げてください。
(3) 多量の雨や水滴がついたときには、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
(4) 防水機能を維持するため、定期的に(2年に1度 点検(有償 することをお勧めいたします。

水の中でご使用になると水が浸水します。水の侵入による製品の不良については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

使用上の注意

分解をしないでください。故障の原因となります。

水中に入れたり、中に異物を入れないでください。
感電の恐れや故障の原因となります。

温度や湿度の高い場所に長時間放置しないでください。故障の原因となります

電池の取扱について

○⊕⊖の方向を正しく入れてください。
○長時間使用しないときは、本体から取出してください。
○指定以外の電池を使用しないでください。

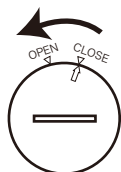
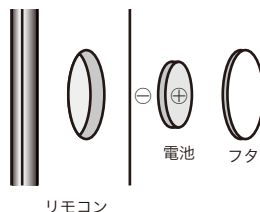
リモコンが正しく動作しない場合は、以下の項目を実行して下さい。

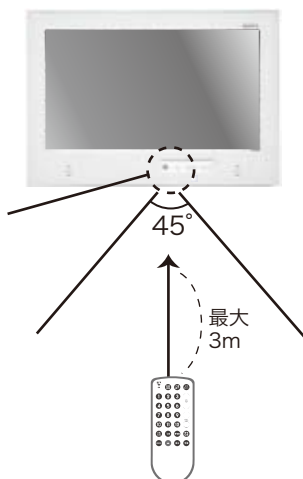
○電池を交換してください。
○電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。
○テレビ本体の電源ボタンを押してください。
○リモコンの先端部を手などで覆わないように操作してください。
○リモコン使用可能範囲で操作してください。

仕様

動作範囲：約 3m　左右 45°　上下 30°
電　　源：DC3V　リチウム電池 CR2025　1 個

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

リチウム電池の入れ方

①裏蓋を付属の工具で矢印の方向に開けてください。
※裏蓋は非常に傷つきやすいです。注意して取り扱ってください

②リチウム電池 CR2025 を⊕⊖の向きを表示通りに正しく入れてください。

使用方法

リモコンを本体のリモコン受光部に向け、受信可能角度（左右 45°上下 30°）から操作してください。

各部の名称と説明

画面表示ボタン
視聴中の番組を表示します。

外部切替ボタン
入力を切り替えます。

オフタイマーボタン
電源を指定時間に切れます。

電源ボタン
電源を【入】【切】 します。

チャンネル数字ボタン
チャンネルを直接選びます。

消音ボタン
一時的に音を消します。

3桁入力ボタン
3桁チャンネル番号を入力して選局します。

MENUボタン
メニュー画面を表示します。

決定ボタン
画面上で選択や決定をします。

▲▼◀▶ボタン
各種設定において、項目間を移動します。

チャンネルボタン
チャンネルを順送りで変更します。

音量ボタン
音量を調節します。

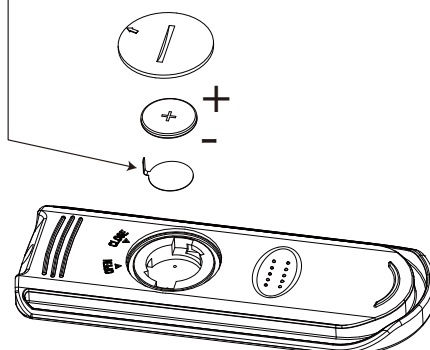
番組表ボタン
電子番組表(EPG)を表示します。

番組情報ボタン
視聴中の番組情報を表示します。

字幕ボタン
字幕対応した番組で字幕を表示します。

戻るボタン
1つ前の画面に戻ります。

音声切替ボタン
ステレオ／2カ国語放送など音声を切替えます。

注意 ご使用前に、付属の工具を使って電池蓋を外し、中の絶縁紙を取り除いてください。

■見るためには

1．アンテナ線を接続し調整します。
　→設置説明書をご覧ください。

2．電源を入れます。

（ 本 体 ）【 POWER 】を押します。電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。
（リモコン） 電源ボタンを押します。電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。

3．受信可能なチャンネルを設定します。
　●出荷時のままでは選局されていません。

地上デジタル
　リモコンの【MENU】ボタンを押して【地上デジタル設定】メニューから【受信設定】を選択し
　【地域設定】にてお住まいの地域を設定し、その後【チャンネル自動設定】を実行してください。
　（２０ページ参照）

アナログ、CATV
　リモコンの【MENU】ボタンを押して【アナログ設定】メニューから【オートサーチ】を実行
　してください。
　（２５ページ参照）

4．入力モードの設定をします。

（ 本 体 ）【MODE】ボタンを押し、入力モードを切替えてください。
（リモコン）【外部切替】ボタンを押し、入力モードを切替えてください。

現在の入力モードが表示されます

D-TV→A-TV→CATV→AV の順に変わっていきます。

D-TV ・・・デジタルテレビ
A-TV ・・・アナログテレビ
CATV・・・アナログテレビ（CATV）
ＡＶ　・・・オーディオビデオ

5．チャンネル（CH）ボタンでチャンネルを選びます。

（ 本 体 ） チャンネルボタン【+】を押すと、現在のチャンネルより数字の大きいチャンネルに
　変わり【ー】を押すと小さいチャンネルに変わります。
（リモコン） チャンネルボタン、チャンネル数字ボタン、３桁入力ボタンでチャンネルを選びます。
　※選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。

6．音量調節（ＶＯＬ）ボタンで音量を調整します。

（ 本 体 ） 音量調節ボタン【+】を押すと音量が大きくなり、【ー】を押すと音量が小さくなります。
（リモコン） 音量ボタンで調整します。

■見終わったら

1．電源ボタンを押して電源を切ります。

2．水滴が付いていた場合、乾いたタオルで本体についた水分を拭き取ります。
　●濡れたまま放置すると故障の原因となります。

■見るには

１．「外部機器との接続について」に従って、ビデオデッキなどを接続します。
　　→「外部機器との接続について」２５ページ参照

２．電源ボタンを押して電源を入れます。
　　●電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。

３．「ＡＶ」モードにします。
　　リモコンの【外部切替】を押して、ＡＶに切り替えます。

４．使用する外部機器を操作します。
　　※外部機器の操作方法は外部機器側の取扱説明書をご覧ください。

５．音量調節（ＶＯＬ）ボタンで音量を調整します。

〔 本 体 〕音量調節ボタン【▲】を押すと音量が大きくなり、【▼】を押すと音量が小さくなります。

〔リモコン〕音量ボタンで調整します。

■見終わったら

１．ご使用の外部機器の電源を切ります。

２．本体の電源ボタンを押して電源を切ります。

■画面説明

```
  《設定メニュー》
⇒起動モード
  音響モード
  画質設定
  地上デジタル設定
  アナログ設定
  初期化
  終了

［▼］［▲］選択　［決定］で設定
```

起動モード：起動時のモードの設定をします。
音響モード：音の設定をします。
画質設定：明るさ、濃淡、色合いの調整をします。（１９ページ参照）
地上デジタル設定：チャンネル設定・字幕・音声・Ｂ－ＣＡＳ等
地上デジタル設定メニューを表示します。
（２０ページ参照）
アナログ設定：アナログ設定メニューを表示します。
（２５ページ参照）
初期化：工場出荷時の設定に戻します。（１９ページ参照）
※初期化を行うと全ての設定がリセットされます。
ご注意ください。

■設定メニューを終了する

```
  《設定メニュー》
  起動モード
  音響モード
  画質設定
  地上デジタル設定
  アナログ設定
  初期化
⇒終了

［▼］［▲］選択　［決定］で設定
```

リモコンの【MENU】ボタンを押すと、
設定メニューが終了します。
また、（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
「終了」に矢印を合わせて【決定】を押しても
設定メニューが終了します。

◇起動モード

《設定メニュー》
⇒起動モード
音響モード
画質設定
地上デジタル設定
アナログ設定
初期化
終了

［▼］［▲］選択　［決定］で設定

①リモコンの【MENU】ボタンを押して
［設定メニュー］を表示させます。

②（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
「起動モード」に矢印を合わせて
【決定】を押します。

《起動モード》

⇒デジタルTV　◉
アナログTV
アナログCATV
AVモード　：オン
戻る

［▼］［▲］選択　［決定］で設定

③（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
調整したい項目を選びます。

④「デジタルTV」「アナログTV」「アナログCATV」を設定する場合【決定】ボタンでそれぞれ選択してください。
また、「AVモード 」を設定する 場合【決定】ボタンで設定を変更してください。

デジタルTV	起動時の画面をデジタルTVにします。
アナログTV	起動時の画面をアナログTVにします。
アナログCATV	起動時の画面をアナログCATVにします。
AVモード	AVモードのオン、オフを設定します。
戻る	設定メニューに戻ります。

◇音響モード

《設定メニュー》
起動モード
⇒音響モード
画質設定
地上デジタル設定
アナログ設定
初期化
終了

［▼］［▲］選択　［決定］で設定

①リモコンの【MENU】ボタンを押して
［設定メニュー］を表示させます。

②（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
「音響モード」に矢印を合わせて
【決定】を押します。

《音響モード》

標準　◉
音楽
映画
スポーツ
使用者設定
サラウンド：オン
戻る

［▼］［▲］選択　［決定］で設定

③（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
調整したい項目を選びます。

④「標準」「音楽」「映画」「スポーツ」「使用者設定」を
設定する場合【決定】ボタンでそれぞれ選択してください。
また、使用者設定する場合「使用者設定」を再度「決定」
ボタンで選択すると詳細が調整できます。サラウンドを設定
する場合【決定】ボタンで「オン」「オフ」を選んでください。

標準	それぞれのシーンに合わせた音響に調節します。ご覧になりたいシーンに合わせてお選びください。
音楽	
映画	
スポーツ	
使用者設定	
サラウンド	サラウンドのオン・オフを選択します。
戻る	設定メニューに戻ります。

◇使用者設定

《使用者設定》

高音調整
低音調整
左右の音のバランス調整
戻る

IIIIIIIIIII··········

［▼］［▲］選択　［決定］で設定

①（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
調整したい項目を選びます。

②（◀・▶）ボタンを押して設定値を調整します。

高音調整	音の高音を調整します。
低音調整	音の低音を調整します。
左右の音のバランス調整	左右の音のバランスを調整します。
戻る	設定メニューに戻ります。

◇画質設定

《設定メニュー》
起動モード
音響モード
⇒画質設定
地上デジタル設定
アナログ設定
初期化
終了

［▼］［▲］選択　［決定］で設定

①リモコンの【MENU】ボタンを押して
［設定メニュー］を表示させます。

②（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
「画質設定」に矢印を合わせて
【決定】を押します。

《画質設定》
⇒明るさ
色調整-赤
色調整-青
色合い
戻る

25

［▼］［▲］選択［◀］［▶］調整

③（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
調整したい項目を選びます。

④（◀・▶）ボタンを押して設定値を調整します。

明るさ	画面の明るさを調整します。
色調整-赤	赤色の調整します。
色調整-青	青色の調整します。
色合い	肌色を調整します。
戻る	設定メニューに戻ります。

◇地上デジタル設定

※【地上デジタル設定】メニューの詳細は２０ページ
を参照してください。

◇アナログ設定

※【アナログ設定】メニューの詳細は２５ページ
を参照してください。

◇初期化 ※初期化を行うと全ての設定がリセットされます。ご注意ください。

《設定メニュー》
起動モード
音響モード
画質設定
地上デジタル設定
アナログ設定
⇒初期化
終了

①リモコンの【MENU】ボタンを押して
［設定メニュー］を表示させます。

②（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
「初期化」に矢印を合わせて
【決定】を押します。

右記のように初期化を実行するかどうかの確認メッセージが
表示されます。

《初期化》

設定を全て初期化します。
よろしいですか？

はい　いいえ

◀ ▶ 選択　[決定]で決定

●はい　…設定が全て初期化され、電源が切れます。
再度電源を入れるとＢ－ＣＡＳ同意画面が
出てきますので、同意操作を行ってください。
（７ページ参照）

●いいえ…初期化設定を終了します。

●地上デジタル設定

チャンネル設定、字幕、音声切換、Ｂ－ＣＡＳ情報など、地上デジタルテレビに関する設定を行ないます。

◇ 地上デジタル設定【受信設定】

○地上デジタル設定メニューを表示する

《設定メニュー》
起動モード
音響モード
画質設定
⇒地上デジタル設定
アナログ設定
初期化
終了

［▼］［▲］選択　［決定］で設定

①リモコンの【MENU】ボタンを押して
［設定メニュー］を表示させせます。

②（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
「地上デジタル設定」に矢印を合わせて
【決定】を押します。

※「地域設定」を必ず行ってから「チャンネル自動設定」
「チャンネル追加設定」を設定してください。

画面が切り替わります

受信設定	機器設定	各種情報表示	テスト

地域設定
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル

お住まいの都道府県を設定します。
（矢印）で選択・(決定) で設定・（戻る）/（メニュー）で終了

（画面操作方法）

[▲]･[▼]･[◀]･[▶]：カーソル移動
[決定]：設定
[戻る]：一つ前の画面へ戻る
[メニュー]： 設定メニューへ戻る
もう一度押すと終了

【受信設定】詳細説明

受信設定
地域設定
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル

◎地域設定
地上デジタル放送を視聴するためにお住まいの地域を設定する。
(地域一覧は２４ページ参照)

◎チャンネル自動設定
受信できるチャンネルをサーチし、ヒットしたチャンネルを本体に設定します。中・小規模中継局にアンテナを向けている場合や、ケーブルテレビでご視聴になる場合、この設定を行ってください。

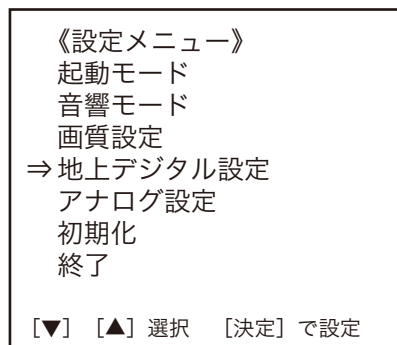
◎チャンネル追加設定
現在設定されているチャンネルはそのままに、追加でヒットしたチャンネルをセットします。中継される放送局が追加された時にお使いください。

◎リモコン設定
リモコンのボタンに、お好みで放送局を割り当てます。

◎チャンネルスキップ
チャンネルの表示、非表示を設定します。
□にチェックを入れない・・・チャンネルを表示します。
□にチェックを入れる　・・・チャンネルを表示しません。

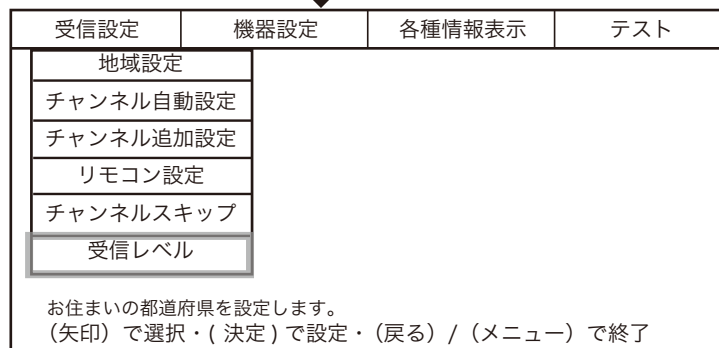
◎受信レベル
現在受信しているチャンネルの受信レベル（電波の強さ）を棒グラフで表示します。（２１ページ参照)

◇ 地上デジタル設定【受信設定 ：受信レベル】

1.地上デジタル設定メニューを表示する

①リモコンの【MENU】ボタンを押して
［設定メニュー］を表示させます。

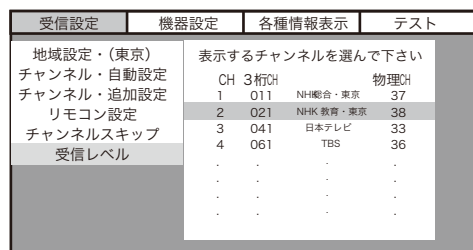
②（▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、
「地上デジタル設定」に矢印を合わせて
【決定】を押します。

2. 受信レベルの選択

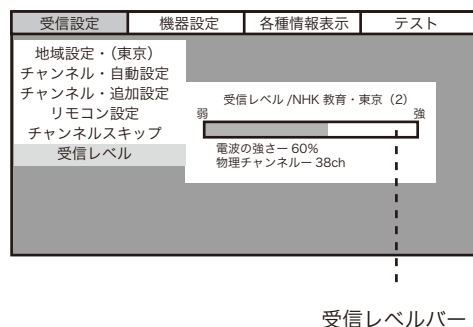
画面が切り替わります

●【受信設定】の詳細項目『受信レベル』

①（▲・▼）ボタンで『受信レベル』を
選択してください。

②【決定】ボタンで決定してください。

3. 受信チャンネルの選択

①（▲・▼）ボタンで適当なチャンネルを選択してください。

②【決定】ボタンで決定してください。

4. アンテナレベルの調整

①アンテナの方向を調整し、受信レベルの
電波の強さを55%以上にしてください。
（アンテナの方向調整方法は、UHF
アンテナの取扱説明書をご覧ください）
安定して視聴できる目安は60%以上です（※）

②終了したら【戻る】ボタンまたは、【MENU】ボタンを
押して、『受信設定』に戻ってください。
以上で設定は終了です。

※受信レベルが60%以上にならない場合は、
ブースタ等を使用して調整してください。

◇ 地上デジタル設定【機器設定】

◎暗証番号

暗証番号の更新を行います。
視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限を設定します。
これらの制限を通過するときや PPV 番組 (有料番組) などを
購入するときに、暗証番号を使います。
※暗証番号は必ずメモしてください。
※初期設定値は『9999』です。

◎字幕・文字スーパー

字幕・文字の表示設定を行います。
表示の有無や第一・第二言語の設定を行います。
(第一・第二言語は放送内容により異なります)

◎音声切換

音声の切換動作を設定します。
主音声・・・主音声を出力します。
副音声・・・副音声を出力します。
主＋副・・・左スピーカー→主音声
右スピーカー→副音声

◎番組表取得設定

番組表のデータを取得する・しないを設定します。
取得する　・・・番組表データを取得します。
取得しない・・・番組表データを取得しません。

◇ 地上デジタル設定【各種情報】

◎Ｂ－ＣＡＳ情報

Ｂ－ＣＡＳカードの情報を表示します。
カード識別、カード ID、グループ ID が表示されます。

◎バージョン情報

ファームウェアバージョンを表示します。

◎放送メール

放送メールを表示します。
放送メールとはデジタル放送を利用して受信機にメールを
送る仕組みです。

◇ 地上デジタル設定【テスト】

◎Ｂ－ＣＡＳテスト

Ｂ－ＣＡＳカードの動作が正常かテストを行うこと
が出来ます。

◎全設定消去

工場出荷状態に戻します。
暗証番号を入力して、初期化メッセージに同意いたしますと
工場出荷の状態に戻ります。

●ＥＰＧ(電子番組表)

ＴＶ視聴中にリモコンの【番組表】ボタンを押すと、ＥＰＧ(電子番組表)が表示されます。
※ 放送局が番組情報を送信していない時は表示されません。また『番組表取得設定』
が『取得しない』になっている場合（２１ページ参照）は表示されません。

選択中の番組（オレンジ表示）

選択中の番組の放送日・放送時間

番 組 一 覧

○○○○○○　○／○(○)○：○～○：○

	ＮＨＫ教育・東京 021 022 023	日本テレビ 041 042	ＴＢＳ 061 062
14時	00○○○○○		
15時			
16時	20○○○○○		
17時	00○○○○○		
▼			

(矢印)選択(番組情報) 詳細(決定) 選局 (戻る/番組表)終了 [番組予約]予約※

※番組予約機能はありません。

（リモコン操作方法）

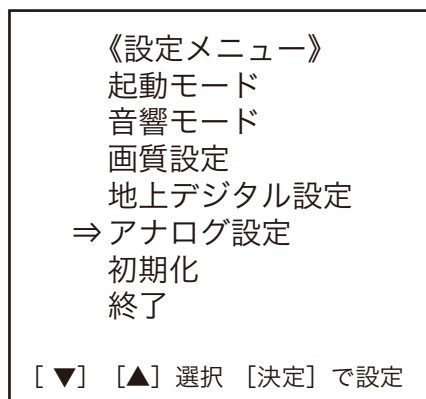
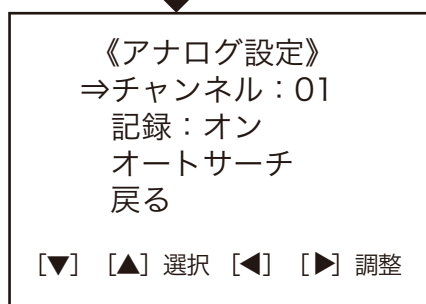
▼▲◀ ▶：上下左右にカーソル移動
[番組情報]：選択中の番組内容を詳細表示します
[決定]： 番組に切替えます。
[戻る]［番組表］：ＥＰＧを終了します

□本製品に設定されている地域一覧です。お住まいから近い中継局に設定してください。

地域設定	詳細エリア設定
北海道	札幌、函館、旭川、帯広、釧路、北見、室蘭
東北	宮城、秋田、山形、岩手、福島、青森
関東	東京、神奈川、群馬、茨城、千葉、栃木、埼玉、山梨
信越／北陸	長野、新潟、石川、福井、富山
中部／東海	愛知、静岡、三重、岐阜
近畿	大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、滋賀
中国／四国	広島、岡山、島根、鳥取、山口、愛媛、香川、徳島、高知
九州／沖縄	福岡、熊本、長崎、鹿児島、宮崎、大分、佐賀、沖縄

■アナログ設定メニューを表示する

《設定メニュー》
起動モード
音響モード
画質設定
地上デジタル設定
⇒アナログ設定
初期化
終了

［▼］［▲］選択 ［決定］で設定

※「D-TV」モードでの設定は出来ません。

① リモコンの【MENU】ボタンを押して<<設定メニュー>>表示させます。

② （▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、「アナログ設定」に矢印を合わせて【決定】を押します。

③ （▲・▼）ボタンを押して矢印を移動し、（◀・▶）ボタンを押して調整します。

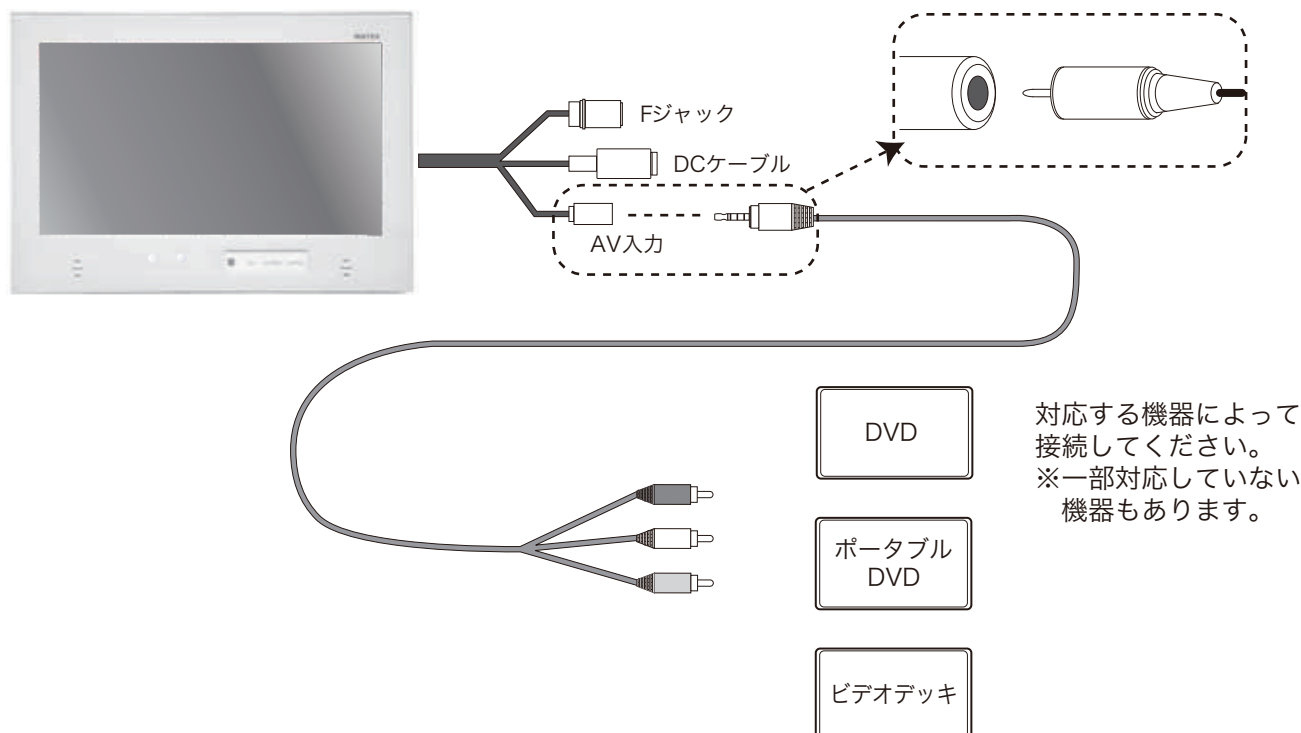
画面が切り替わります

《アナログ設定》
⇒チャンネル：01
記録：オン
オートサーチ
戻る

［▼］［▲］選択 ［◀］［▶］調整

チャンネル	調整したいチャンネルを選択します。
記　録	「オン」で視聴可「オフ」で視聴不可になります。
オートサーチ	局の選局をします。
戻　る	《設定メニュー》 に戻ります。

●外部機器との接続について

・接続ケーブルのAV入力端子に4極φ3.5ステレオミニジャックを接続します。
※専用AVケーブルとなります。市販のAVケーブルはご使用できません。

◇ オフタイマー設定

オフタイマーを設定し、指定した時間が過ぎると自動的にテレビを終了します。

オフタイマー
オフ

① リモコンの【オフタイマー】ボタンを押します。

② 画面左上に時間が赤く表示されます。

③【オフタイマー】ボタンを押すと
オフ→30 分→60 分→90 分→120 分→オフ…
の順に変化します。

④ オフタイマーの表示が消えると設定完了です。
設定が完了した後、【オフタイマー】ボタンを押すと
残り時間が表示されます。

※ 残り時間が1分を切ると自動的に表示されます。

画面に表示されず、音声も出力されない
・製品本体の電源ボタンを押して、電源を入れ直します。電源が入った後、電源ランプが緑色に点灯していることを確認してください。 ・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の電源が入っていることを確認してください。 ・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。 ・入力モードは合っていますか？ＴＶ／ＡＶの入力モードを確認してください。
音声は出力されるが、画面が出ない
・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。 ・『明るさ』、『濃淡』、『色あい』を調整してください。
画面は表示されるが、音が出ない
・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。 ・製品本体の音量調節ボタンを押して、音量を上げてください。
映像や音声が出ない（ＴＶ）
・アンテナ接続時はアンテナが接続されているか確認してください。また、アンテナがＵＨＦアンテナであるか確認してください。ＶＨＦアンテナでは受信できません。 ・アンテナの向きが地上デジタルテレビ放送を送信している中継局へ向いているか確認してください。 ・ケーブルテレビで接続している場合、ご契約のケーブルテレビ会社が周波数パススルー（全帯域）方式に対応しているかをご確認ください。トランスモジュレーション方式の場合はＳＴＢ（セットトップボックス）を接続してください。
特定のチャンネルの受信ができない
・チャンネル設定が正しく行われているか確認してください。また、チャンネル追加設定で再度チャンネルサーチを行ってみてください。 ・中継局によっては、一部チャンネルのみ送信している場合があります。中継局の送信状況についてはお買い上げの販売店へお尋ねください。 ・ＬＭ帯アンテナ（13ch ～ 44ch）や、ＭＨ帯アンテナ（31ch ～ 62ch）をご使用の場合、一部チャンネルが受信できません。ＵＨＦ全帯域アンテナ(13ch ～ 62ch）をご使用ください。ご使用のアンテナがどの種類か分からない場合は、アンテナ取付業者様にお問い合わせください。
本体の電源が勝手に切れてしまう
・オフタイマーがセットされていないことを確認してください。
製品本体の電源が入らない
・製品本体の電源ボタンを押して、電源が入ることを確認します。電源が入った後、電源ランプが赤色に点灯していることを確認してください。
映像の映りが悪い、画面に縞模様が入る、音声にノイズが入る
・アンテナの向きは中継局の方向へ向いていますか？方向がずれていると映りが悪くなります。アンテナ調整は専門業者にご依頼ください。 ・パソコン・携帯電話・ＡＶ機器・無線局等、磁極を発する機器の近くで使用している場合、ノイズが発生することがあります。これらの機器を本製品から離してください。
モノクロで表示される、色合いが悪い
・『濃淡』、『色あい』を調整してください。
画面が明るすぎる、または暗い
・『明るさ』を調整してください。
画面が曇っている
・常温の室内に数時間放置しても曇りが取れない場合は、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

●製品仕様

製品名	XL-202

種類	地上デジタル防水テレビ　20型
受信チャンネル範囲	日本国内地上波デジタル放送 UHF(13〜62)CATV(1〜12,C13〜63)
受信感度	使用地域の電波状況による
表示器	TFT LCD
画素数	1366(W)×768(H) 画素
アンテナ	各種アンテナ接続
音声方式	ステレオ / サラウンド
スピーカー	防水タイプ（φ40,8Ω,1W）　２個
接続端子	１系統 (F 型ジャック)
使用電源	AC100V
定格周波数	50/60Hz
防水機能	ＩＰＸ６級耐水相当
消費電力	55W
動作温度	0℃〜+50℃
保存温度	-10℃〜+60℃
本体外形寸法	幅 525mm× 高さ 368mm× 奥行き 62mm
質量	約 7kg(本体)
付属品	専用同軸ケーブル 専用AVケーブル（オプション） 電源ケーブル リモコン リモコンホルダー 電源ボックス 設置板 取扱説明書 設置説明書 保証書 ビスカバー：２個 取付板用ビス　M4×25：６本 ビスカバー用ビス　M4×10：２本 防水スポンジ リモコンホルダー用ビス　M3×18：２本 リモコンホルダー用両面テープ　：２枚 リモコン用リチウム電池 リモコン用工具

※[1] 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、予めご了承下さい。

(注)本製品の外観・仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

●保証とアフターサービス

□保証書

・本製品には保証書が添付しております。お買い上げの際に必ずお買い上げ店よりお受け取り下さい。
・内容ならびにお買い上げ店名・お買い上げ日の記載があることをお確かめの上、大切に保管してください。
・本保証書を紛失した場合は、保証書の再発行は行っておりませんので予めご了承下さい。
・本製品の保証期間はお買い上げ日より起算して満1年間です。
・保証期間中に修理等をご依頼の場合には、保証書のご提示が必要です。保証書のご提示が無い場合、有償での修理となる場合がございます。
・本保証書は日本国内においてのみ有効です。

□アフターサービス

本製品の修理をご依頼される前に、まず本取扱説明書に従って 正しく操作を行い、いま一度お確かめ下さい。
確認をしていただきそれでも不具合が改善されない場合には、次の処置をしてください。

●保証期間中の修理について

保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下で万が一不具合が発生した場合、当社保証規定に基づき無償にて不具合箇所の修理等対応をさせていただきます。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にお持込いただくか、または当社お客様サポートセンターへご送付ください。
但し、不具合原因が不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いによる結果のものと判明した場合、有償修理とさせていただきます。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

●製品の保証範囲

製品の保証は、製品同梱の付属品を使用し、保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下でのご使用に限り有効です。
万が一正常な使用状態下でのご使用で不具合が発生した場合、当社保証規定に基づき不具合箇所の修理等対応をさせていただきます。
但し、下記の場合には保証期間内でも無償修理が受けられません。
・製品と本保証書のご提示が無い場合。
・本保証書の所定事項の未記入・複製・改ざんがある場合。
・お買い上げ後の輸送・移動時の落下または衝撃等、お取り扱いが適正でない場合に生じた故障・破損の場合。
・お客様による不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いにより生じた故障・破損の場合。
・当社以外で修理・部品交換などのメンテナンスを行った場合。
・火災・地震・落雷・塩害・風水害等の天変地異、公害や異常電圧などの外部要因により生じた故障・破損の場合。
・日本国外でのご使用の場合。
また、下記の場合には免責事項として保証範囲に含まれません。
・保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下で消耗部品が自然消耗もしくは磨耗した動作不具合の場合。
・お客様で追加接続した、付属品以外の周辺機器との間に生じる動作不具合の場合。
・本製品の故障および操作不具合・本製品の使用または関係することにより生じた損失に対して、継続または特別的、直接または間接的に関わらず責任を負いかねます。

□ 修理・保証内容のお問い合わせ先

〒373-0015 群馬県太田市東新町32
株式会社ワーテックス　お客様サポートセンター係
T　E　L：0120-25-3930（フリーダイヤル）
F　A　X：0276-25-2631
E-mail：support@watex-net.com
受付時間：月～金　8:30～12:00 / 13:00～17:30
（土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日）
ホームページ：http://www.watex-net.com